

山梨県民意識調査票

令和7年7月

山梨県

インターネット回答用番号							調査員名	点検者名
年	度	地	番	地点番号				
0	7							

山梨県が実施する「県民意識調査」でうかがいました。この調査は、暮らしについてのお考えをお聞きして、今後の山梨県の施策に反映することが目的です。

調査結果はコンピュータによって統計的に処理するため、個別のご回答内容が公表されることはありません。また、他の目的に利用することはありません。

お忙しいところ恐縮ですが、よろしくお願ひいたします。

ご回答にあたってのお願い

- この調査は個人を対象にしていますので、_____様ご自身に記入をお願いいたします。
※ご本人が何らかの理由で記入できないときは、ご本人のお考えを、ご家族の方が代わってご記入ください。
- ご記入は、黒の鉛筆か、黒のボールペンでお願いします。
- ご回答は、選択項目が用意されている質問では、あてはまる項目についている太字の数字（1, 2など）を○で囲んでください。
また、「その他（　　）」にあてはまる場合は、太字の数字を○で囲むとともに、その内容を（　　）内にご記入ください。
- この調査は、インターネットで回答することもできます。その詳しい手続き等については、同封の案内をご確認ください。
- 調査票の内容や、記入方法などについてご不明の点やご質問がありましたら、お手数ですが、下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

【お問合せ先】

調査の趣旨について：

山梨県 高度政策推進局 政策調整グループ（担当：齋藤、望月、齊藤）
〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1
電話 055-223-1553（直通）

調査票の記入について：

公益財団法人 山梨総合研究所（担当：藤原、日原、望月）
〒400-0031 甲府市丸の内1-8-11
電話 055-221-1020

- インターネット回答をされる場合は、8月3日（日）までにお願いします。それ以降はインターネット回答ページが表示されなくなります。
- インターネット回答された方以外につきましては、ご回答いただきました調査票を、
_____月_____日に、私_____がいただきにうかがいます。なにとぞ、それまでにご記入くださいますようお願いいたします。

問1 あなたは、お住まいや周辺の環境・日々の暮らしの中で、次のような項目1つ1つについて、どの程度満足していますか。

お答えは、「満足している」、「どちらかといえば満足している」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満である」、「不満である」の5つから選んでください。（○はそれぞれ1つ）

（あなたにあてはまらない場合は、「わからない」を選んでください。）

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満である	不満である	わからない

〈健 康〉

(1) 日ごろ病気になったときにかかる病院や診療所の医療について	1	2	3	4	5	6
(2) 休日や夜間などの救急医療について	1	2	3	4	5	6
(3) 市役所、町村役場が行う生活習慣病検診や医療相談について	1	2	3	4	5	6
(4) あなたの健康を守るための環境全般について	1	2	3	4	5	6

〈安 全〉

(5) 每日の生活の中での交通の安全性について	1	2	3	4	5	6
(6) あなたがお住まいの地域での防犯体制や防火活動について	1	2	3	4	5	6
(7) 地震や大雨による浸水・がけくずれなど自然災害からの安全性について	1	2	3	4	5	6
(8) あなたの生活全般の安全性について	1	2	3	4	5	6

〈居住環境〉

(9) 山や川などの自然環境について	1	2	3	4	5	6
(10) 大気汚染や水質汚濁、騒音、振動、悪臭などの状況について	1	2	3	4	5	6
(11) 公園、広場、遊び場などについて	1	2	3	4	5	6
(12) あなたの地域でのごみや生活排水の処理について	1	2	3	4	5	6
(13) 現在お住まいの住宅の敷地や建物の広さについて	1	2	3	4	5	6
(14) バス、鉄道など公共交通の利便性について	1	2	3	4	5	6
(15) あなたの地域の道路の整備状況について	1	2	3	4	5	6
(16) 日常の買い物の利便性について	1	2	3	4	5	6
(17) あなたの居住環境全般について	1	2	3	4	5	6

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満である	わからない

〈仕 事〉

(18) 自分の望む仕事に就職、転職する機会や職業紹介について	1	2	3	4	5	6
(19) 労働時間や休日、福利厚生、仕事の安全衛生などについて	1	2	3	4	5	6
(20) 今の仕事のやりがいについて	1	2	3	4	5	6
(21) あなたの今のお仕事全般について	1	2	3	4	5	6

〈所得・消費〉

(22) あなたのご家庭の所得について	1	2	3	4	5	6
(23) あなたのご家庭の資産(預貯金、株式、不動産など)について	1	2	3	4	5	6
(24) 商品(サービス)の種類や豊富さについて	1	2	3	4	5	6
(25) 最近の物価について	1	2	3	4	5	6
(26) あなたのご家庭の暮らし向き全般について	1	2	3	4	5	6

〈子育て・教育〉

(27) 出産・育児環境について	1	2	3	4	5	6
(28) 幼稚園、保育所などの施設について	1	2	3	4	5	6
(29) 小・中学校、高等学校などの教育について	1	2	3	4	5	6
(30) 県内で大学、短期大学、専門学校などの教育を受ける機会について	1	2	3	4	5	6
(31) しつけなどの各家庭の教育について	1	2	3	4	5	6
(32) あなたのご家族の子育て・教育全般について	1	2	3	4	5	6

〈文 化〉

(33) 趣味の会、教養講座などの文化活動に参加したり、すぐれた芸術文化に接したりする機会について	1	2	3	4	5	6
(34) 図書館、文化ホール、美術館、博物館などの施設について	1	2	3	4	5	6
(35) 史跡、文化財、郷土芸能、まつりなどの保存や伝承について	1	2	3	4	5	6
(36) あなたが日ごろ接している文化全般について	1	2	3	4	5	6

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)
満足している	どちらかといえば満足している	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満である	わからない

〈余暇〉

(37) あなたが自由にできる時間について	1	2	3	4	5	6
(38) スポーツ、レクリエーションなどのための身近な施設やそれらの利用のしやすさについて	1	2	3	4	5	6
(39) 県内の映画館、劇場、遊園地などでの娯楽・レジャーについて	1	2	3	4	5	6
(40) 催し物・イベントなどの余暇情報を得る機会について	1	2	3	4	5	6
(41) ハイキングなど自然と親しむ機会について	1	2	3	4	5	6
(42) あなたの休日や余暇の過ごし方全般について	1	2	3	4	5	6

〈福祉・連帯〉

(43) 近所づきあいや地域で行われる行事への住民の参加について	1	2	3	4	5	6
(44) お年寄り、子ども、障害者などに対する国や県の施策について	1	2	3	4	5	6
(45) あなたがお住まいの地域での人のつながりや福祉サービス全般について	1	2	3	4	5	6

〈生活全般〉

(46) あなたの生活全般について	1	2	3	4	5	6
-------------------	---	---	---	---	---	---

【豊かさ】

問2 あなたにとって「豊かさ」とは何ですか。あなたのイメージに近いものを次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|--------------|-------------------------|
| 1 収入や資産が多い | 8 働くよろこび |
| 2 衣食の充実 | 9 社会奉仕（ボランティア）活動による生きがい |
| 3 快適な居住環境 | 10 恵まれた人間関係 |
| 4 恵まれた自然 | 11 心身の健康 |
| 5 時間的なゆとり | 12 安全・安心な平穏 |
| 6 生活が便利 | 13 その他（ ） |
| 7 文化・学習機会の充実 | |

【定住意識】

問3 あなたは、山梨県にこれからも住み続けたいと思いますか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | | | | |
|-------------|-----------------------|--------------------|-------------------------|----------------|
| 1
ぜひ住みたい | 2
どちらかといえば
住みたい | 3
どちらとも
いえない | 4
どちらかといえば
住みたくない | 5
ぜひ県外へ移りたい |
|-------------|-----------------------|--------------------|-------------------------|----------------|
-

【山梨県のよいところ・よくないところ】

問4 あなたは、山梨県に住んで、本県のどのような点がよいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1 自然環境に恵まれている | 9 文化や教育が進んでいる |
| 2 通勤・通学に便利 | 10 物価が安い |
| 3 買い物に便利 | 11 自然災害が少ない |
| 4 人情味がある | 12 大気汚染や水質汚濁などが少ない |
| 5 すばらしい伝統や文化が残っている | 13 東京に近くて便利 |
| 6 将来発展する可能性がある | 14 行政の対応が早い |
| 7 福祉や医療が充実している | 15 治安が良い |
| 8 出産・子育てしやすい | 16 その他 () |
-

問5 あなたは、山梨県のどのような点がよくないと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1 通勤・通学に不便 | 9 物価が高い |
| 2 買い物に不便 | 10 自然災害が多い |
| 3 人情味が薄い | 11 道路・公園・下水道の整備が遅れている |
| 4 好ましくない風習が残っている | 12 市街地に活気がない |
| 5 魅力ある雇用の場が少ない | 13 行政の対応が遅い |
| 6 福祉や医療が遅れている | 14 治安が悪い |
| 7 出産・子育てしにくい | 15 その他 () |
| 8 文化や教育のレベルが低い | |
-

【不安】

問6 あなたは、日々の暮らしのなかで、悩みや不安を感じことがありますか。ある場合は、次の中から3つまで選んでください。

- | | |
|--------------|------------|
| 1 健康・体力 | 8 家族との人間関係 |
| 2 収入・貯蓄 | 9 地域での人間関係 |
| 3 仕事 | 10 住宅 |
| 4 就職 | 11 治安 |
| 5 結婚 | 12 自然災害 |
| 6 子育て・子どもの教育 | 13 その他 () |
| 7 介護 | |
-

【行政の施策についての要望】

問7 あなたが行政に対し、力を入れてほしいと思う施策はどのようなことですか。次の中から5つまで選んでください。

- 1 県内経済を支える地域産業の振興
 - 2 雇用の創出・安定化、就職・就業の支援
 - 3 農業や農村の振興
 - 4 健全な森づくりと、それを支える林業の振興
 - 5 環境保全、脱炭素社会の実現
 - 6 山梨の魅力をいかした観光の振興
 - 7 バス・鉄道などの公共交通機関の充実と利便性の向上
 - 8 特色や活気あるまちなみづくりや美しい景観の形成、道路の整備
 - 9 高齢者、障害者をはじめ誰もが安心して生活できる地域福祉の推進
 - 10 医療体制の充実や健康づくり
 - 11 子育てしやすい環境づくりや、育児への支援
 - 12 地震、風水害、土砂災害などから生命や財産を守る防災・災害対策
 - 13 防犯や交通安全、消費者被害の防止など、安全な社会づくり
 - 14 学校教育の充実や、健全な青少年の育成
 - 15 芸術文化・スポーツの振興や、生涯学習機会の支援
 - 16 人口減少に歯止めをかける施策
 - 17 生活困窮者に対する支援
 - 18 家族や身近な人のケア（介護、看病等）を行う人に対する支援
 - 19 その他（ ）
-

【地域産業】

問8 経済の活力を高め、豊かな県民生活を維持するためには、競争力のある地域産業の振興が重要です。山梨の産業の現状から、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 中小企業の新技術・新製品の開発
 - 2 中小企業の海外市場を含めた販路開拓や受注獲得
 - 3 水素・燃料電池や医療機器といった成長産業分野への県内企業の参入
 - 4 起業や創業
 - 5 技術力向上を図るための産学官（産業界・大学など・行政）の連携
 - 6 将来性のある優良企業の誘致や県内企業の規模拡大
 - 7 将来の産業発展につながる科学技術の振興
 - 8 地域産業を担う技術や知識を身につけた人材の確保・育成（リスクリングへの取り組みを含む）
 - 9 事業活動に必要な資金が十分に調達できるしくみの充実
 - 10 ジュエリー、繊維、ワイン、日本酒などの地場産業のブランド化や販売力の強化
 - 11 伝統工芸品の後継者育成など、伝統産業の振興
 - 12 県民生活や地域県民を支える物流基盤の強化
 - 13 その他（ ）
-

【農業】

問9 農業は、食料生産のほか、農村景観の形成、災害の防止など、生活にさまざまな恵みをもたらしています。山梨の農業の現状から、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 山梨独自の新たな品種の開発と、その普及・宣伝
- 2 県産農産物のブランド力の強化と消費者へのPRなど販売促進活動
- 3 農道や農地の整備など、農業生産基盤の整備の推進
- 4 経営規模の拡大や新たな技術の導入など、農業経営の効率化
- 5 農産物の新たな販路の開拓や需要の拡大など、販売戦略の強化
- 6 果実などの海外への輸出拡大
- 7 食品産業などとの連携による新たな農産加工品の開発、名産品づくり
- 8 新たに農業に従事する人や企業の農業参入など、多様な担い手の確保・育成
- 9 県産農産物の県内消費（地産地消）の拡大
- 10 耕作放棄地の再生・活用
- 11 農作物への鳥獣害の防止対策の強化
- 12 ICT^(注1)の活用などによるスマート農業の研究・普及
- 13 4パーセント・イニシアチブ^(注2)、カーボンフリー農業^(注3)など環境に配慮した農業
- 14 その他（ ）

(注1) ICT : ICTとは「Information and Communication Technology」の略です。コンピュータや情報通信ネットワーク（インターネット等）などの情報通信技術のことです。

(注2) 4パーセント・イニシアチブ：世界の土壤表層の炭素量を年間4パーセント（0.4%）増加させることができれば、人間の経済活動などによって増加する大気中の二酸化炭素を実質ゼロにすることができるという考え方で、農業分野から脱炭素社会の実現を目指す取り組みのことです。

(注3) カーボンフリー農業：農業分野における地球温暖化の抑制対策を図るため、本県の強みであるグリーン水素や再生可能エネルギー等の地域資源を活用したエネルギーを自給自足するシステムを確立し、農業生産に要するコスト削減や高付加価値化を図るとともに、エネルギーの国際情勢に左右されない農業を推進し、本県農業者の所得を向上する取り組みのことです。

【林業】

問10 山梨は県土面積の78%を森林が占めており、その豊かな森林は、木材生産をはじめ、災害の防止、水源のかん養など、さまざまな恩恵をもたらし、県民の暮らしを支えています。

山梨の林業の現状から、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 間伐や、主伐後の再造林等の森林整備
- 2 森林整備や木材搬出のための林内路網整備
- 3 林業の担い手となる人材の確保・育成
- 4 I C Tや高性能林業機械を活用した森林施業の生産性向上
- 5 県産材を低成本で供給するサプライチェーンの構築
- 6 木の良さや利用の意義などの普及啓発
- 7 公共施設の木造・木質化の推進
- 8 住宅や民間建築物の木造・木質化の推進
- 9 環境や地域社会に配慮した県産F S C認証材^(注4)のブランド化
- 10 木塀などの外構部材、木のおもちゃなど幅広い分野での木材利用
- 11 県産材の県外及び海外への販路開拓
- 12 木質バイオマスの利活用の推進
- 13 その他 ()

【環境保全】

問11 環境を守るため、あなたは日常生活においてどのようなことを心がけていますか。次の中から選んでください。(該当するものはすべて選択)

- 1 太陽光発電の導入など、クリーンエネルギーの活用
- 2 省エネ家電など、エネルギー消費の少ない商品の購入
- 3 節電や節水
- 4 ごみの分別の徹底
- 5 リサイクル（再生）品の購入
- 6 買い物袋（マイバッグ）や自分専用の箸（マイ箸）の持参などによるごみの減量化
- 7 食べ残しの発生抑制などによる食品ロスの発生防止
- 8 マイカー利用を控え、バス、電車、自転車の利用
- 9 アイドリングストップや、急発進・急加速などを避けるエコドライブ
- 10 緑のカーテンによる冷房利用の抑制
- 11 草木を植えるなどの緑化
- 12 環境美化などのボランティア活動や、環境に関する学習機会の活用
- 13 特に何もしていない
- 14 その他 ()

(注4) 県産F S C認証材：山梨県有林は、国際的な森林認証制度であるF S C®森林管理認証を取得し、F S C森林管理認証の原則と基準に基づき、環境や地域社会に配慮しながら、持続可能な森づくりをすすめています。県有林から生産された木材は、F S C認証材として活用されていて、F S C認証制度の大きな目的の一つでもある違法伐採の抑止にも貢献しています。

問12 環境を守るため、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 太陽光、水力などのクリーンエネルギーの普及促進
 - 2 燃料電池車の普及促進など、水素エネルギーの利活用の推進
 - 3 省エネやリサイクルの推進など、環境への負荷が少ない生活スタイルの普及
 - 4 企業が行う事業活動の省エネ化や低公害化
 - 5 マイカー利用からバス、電車、自転車利用への転換促進や、公共交通機関の充実
 - 6 産業廃棄物や家庭ごみの処理対策
 - 7 地球温暖化防止などに貢献する森林の整備保全や、水資源の保護
 - 8 下水道整備や浄化槽の設置推進による生活排水対策
 - 9 大気・土壤汚染、水質汚濁、騒音、悪臭など、身近な生活環境悪化への対策
 - 10 廃棄物の不法投棄対策の強化
 - 11 環境保護意識の啓発や、環境教育の推進
 - 12 その他 ()
-

【観光】

問13 観光の振興は、経済の活性化のほか、にぎわいや交流を通じて地域の活力向上や心の豊かさにもつながります。山梨の観光の現状から、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 ワイン、ジュエリーなど県産品のブランド力をいかした観光客誘致
 - 2 映画やテレビ番組などの撮影の誘致
 - 3 おもてなしの推進に向けた県民挙げての取り組み
 - 4 農業体験や自然環境の学習など、参加・体験型旅行商品の開発
 - 5 日本有数の山々・景観や温泉、文化財など、地域の資源をいかした観光地づくり
 - 6 観光客が利用する施設（遊歩道、トイレなど）の整備・改修
 - 7 山岳遭難防止のための啓発など、安全登山に向けた山岳遭難防止対策の推進
 - 8 インターネットやSNSなどによる、山梨県の魅力や観光情報の発信
 - 9 公共LANの整備など観光客誘致のための取り組み
 - 10 JR線や富士急行線、中部横断自動車道を活用した広域的観光地づくり
 - 11 観光地を結ぶバスネットワークなど、観光客が利用しやすい公共交通の充実
 - 12 ワーケーション^(注5)の受け入れ環境の整備・支援
 - 13 ICTをいかした付加価値の高いサービスの創出
 - 14 森林セラピーやグランピングなどアウトドア・アクティビティの場としての森林空間の積極的な活用
 - 15 その他 ()
-

(注5) ワーケーション：「ワーク(Work)」と「バケーション(Vacation)」を組み合わせた造語で、会社員などが、休暇などで滞在している観光地や帰省先などで働く「新しい旅のスタイル」です。

【交通】

問14 地域の経済の活性化や安全で豊かな生活のためには、公共交通や道路の利便性向上が重要です。

山梨の交通の現状から、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 中部横断自動車道（山梨-長野間）の早期整備や中央自動車道の渋滞対策など、高速道路網の充実
 - 2 新山梨環状道路など、県内交通の骨格となる道路網の整備
 - 3 地域間を結ぶ国道や県道の整備
 - 4 生活に密着した市町村道の整備
 - 5 リニア中央新幹線の開業効果を全県に波及させるための交通ネットワークの整備
 - 6 J R中央線の利便性向上による東京圏などへのアクセス向上
 - 7 日常生活を支えるバス路線の確保・維持
 - 8 パークアンドライドなど、車に依存しそぎない公共交通機関を利用した交通体系
 - 9 交差点の改良やバスレーンの設置などによる渋滞の解消
 - 10 歩道の拡幅や段差の解消、自転車道、通学路の整備などによる交通の安全性確保
 - 11 自動運転やライドシェア（自家用車の配車）など新たな交通サービスの導入
 - 12 超小型モビリティ（電動カート、電動キックボード、電動自転車など）を活用した近距離の日常的な交通手段の充実
 - 13 新たな公共交通機関の整備による交通網の充実
 - 14 その他（ ）
-

【地域福祉】

問15 高齢者や障害者をはじめ誰もが安心して暮らせる地域福祉の推進に向けて、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 高齢者や障害者などの社会参加活動
 - 2 高齢者や障害者が快適に暮らせるまちづくり
 - 3 高齢者や障害者の多様なニーズに応じた福祉施設の整備
 - 4 質の高い福祉サービスが提供できるような福祉人材の養成・確保
 - 5 介護保険制度の充実（介護サービスの質の向上など）
 - 6 高齢者の介護を地域全体で支えるための、生活支援サービス提供体制の充実
 - 7 認知症に対する理解促進や予防プログラムの普及など、認知症患者への総合的な支援体制づくり
 - 8 障害者の日常生活を支援する障害福祉サービスの充実
 - 9 障害者の就労への支援（農福連携の推進を含む）
 - 10 障害や障害者に関する正しい理解の促進や、福祉教育の推進
 - 11 自殺予防への意識を高めることや、地域が自殺防止に取り組む体制の整備・充実
 - 12 薬物やアルコールなどの依存症に係る医療提供体制の整備や回復促進等の支援
 - 13 その他（ ）
-

【保健医療】

問16 日ごろからの健康づくりや、病気やけがなどのときに必要な医療を受けられる環境づくりのために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 休日や夜間など緊急時の救急医療体制の整備
 - 2 地震などの災害時に、すみやかに必要な医療が提供される体制の充実
 - 3 住み慣れた居宅などで必要な医療サービスが受けられる在宅医療の充実
 - 4 遠隔医療やＩＣＴを活用したオンライン診療の普及
 - 5 医療の提供体制が特に弱い地域における、医療機能の充実
 - 6 産科医や小児科医など医師の確保・定着
 - 7 看護師や助産師など看護職員の確保・定着
 - 8 疾病や生活習慣病など予防可能な病気に関する正しい知識の普及啓発及び、予防などの取り組み
 - 9 がんなど主要な病気に対する診療体制の整備
 - 10 難病医療提供体制の充実
 - 11 不妊治療や出産前後の健診・医療が身近で安心して受けられる体制の充実
 - 12 健康づくりに関する正しい知識の普及啓発
 - 13 将来の妊娠や出産のための健康管理（プレコンセプションケア）に対する支援
 - 14 その他（ ）
-

【子育て】

問17 安心して子育てができる環境づくりのために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 子育てに役立つ情報提供の充実
 - 2 子育てについての相談やカウンセリングが受けやすい体制の充実
 - 3 ワーク・ライフ・バランスの推進など子育てしやすい職場環境づくり
 - 4 働く親が放課後などに安心して子どもを預けられる場の確保（放課後児童クラブなど）
 - 5 子育て中の親に対する職業訓練や就職支援の充実
 - 6 延長保育や病児保育、休日・夜間保育など、保育サービスの充実
 - 7 児童虐待の防止と早期対応
 - 8 心の問題を抱えた子どもやその家族への相談支援、心の健康を支える体制の充実
 - 9 休日・夜間の急な子どもの病気やけがに対処できる救急医療や電話相談などの体制の充実
 - 10 子どもを犯罪や交通事故から守る、安全確保の取り組み
 - 11 育児や家事を男女が協力して行うような意識の啓発
 - 12 子育てに伴う経済的負担の軽減
 - 13 その他（ ）
-

【防災・災害】

問18 大規模自然災害への対策として、地域の防災力の強化や災害に強い県土づくりを進めていくことが重要な課題となっています。

県民の安全を守るために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 地域防災リーダーの養成や、防災に関する学習機会の提供など、地域防災力の強化
 - 2 消防団や水防団活動の活性化や自主防災組織の育成など、地域での組織的な災害対応力の強化
 - 3 消防防災ヘリコプターの運航体制の確保や近隣自治体との応援体制の連携強化など、広域的な防災体制の充実
 - 4 消防本部の広域化による防災組織・体制の強化、災害時対応力の強化
 - 5 災害や避難に関する情報を、県民にすみやかに提供するシステムの整備
 - 6 学校、病院などの公共施設や住宅の耐震化
 - 7 洪水や山地崩壊、土砂災害などによる被害を防止する施設の整備
 - 8 避難・救助活動や物資援助に役立つ、災害に強い道づくりや橋の耐震化
 - 9 富士山火山噴火時の避難を支援する減災対策
 - 10 災害時における電力供給体制の強化
 - 11 災害など緊急時に備えた食料、飲料水、医薬品などの備蓄や確保
 - 12 地震災害時に避難地や物資の集積地として機能する、都市公園の防災拠点化
 - 13 その他 ()
-

【安全な社会づくり】

問19 安全に暮らせる社会づくりのために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 自主防犯団体の支援や住民の防犯意識の啓発など、地域ぐるみの防犯活動
 - 2 防犯カメラ、防犯灯の設置などによる子ども・女性の安全確保や犯罪の未然防止
 - 3 犯罪被害者への支援対策の充実
 - 4 暴力追放運動の支援や県民・事業者への暴力団排除意識の啓発など、暴力団排除活動の推進
 - 5 交通事故防止や飲酒運転根絶のための、運転者や歩行者への意識啓発など、交通安全対策の充実
 - 6 電話詐欺など県民が被害に遭う危険性の高い犯罪の防止
 - 7 高齢者、障害者をはじめ誰もが利用しやすい施設や通路、駐車場などの整備
 - 8 食品の安全性を確保する監視・検査体制の充実
 - 9 商品・サービスに関する取引の適正化や相談体制の充実
 - 10 インターネットを利用した犯罪から県民を守るため、官民が連携したサイバー犯罪対策
 - 11 インターネット上でのモラルやマナーの向上（SNSへの書き込みなど）に関する普及啓発
 - 12 その他 ()
-

【学校教育】

問20 学校教育に関して、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 豊かな自然環境を生かした知的好奇心や感性を育む幼児教育の充実
- 2 基礎的な知識・技能や学ぶ意欲、思考力・判断力・表現力などを身につける教育の充実
- 3 子どもの体力向上への取り組み
- 4 障害のある子どもなど、特別なニーズに対応する教育の充実
- 5 奉仕・自然・農業体験など、自ら考え、判断し、他者と協働して行動できる資質や能力を育む体験活動の充実
- 6 食育（食に関する正しい知識や行動を身につけるための教育）の推進
- 7 郷土のことを知り、大切に思う心を育むための、郷土教育（歴史、環境、自然、景観）の充実
- 8 国際的に活躍できる人材を育てる語学教育などの充実
- 9 社会的・職業的自立に向け、必要な能力や態度を育むキャリア教育・職業教育の充実
- 10 きめ細かな指導が可能となる少人数教育の充実
- 11 子どもの心の問題に対応するための専門員の配置など、支援体制の強化
- 12 教職員の資質・指導力の向上
- 13 地域が学校教育を応援する体制づくりなど、学校・家庭・地域の連携強化
- 14 魅力と活力ある高校づくり（中高一貫教育、探究活動の充実など）
- 15 大学など、高等教育機関の充実
- 16 学校への冷房設備導入や校庭の芝生化など、快適な教育環境の整備
- 17 創造性を育む学びを実現するため、ＩＣＴ環境の充実と高速通信ネットワークの整備
- 18 その他（ ）

【文化・スポーツ・生涯学習】

問21 芸術文化活動やスポーツ・レクリエーション活動、生涯学習について、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 公立施設（文化ホール、図書館、美術館、博物館など）における芸術文化に触れる機会の充実
- 2 身近な地域でスポーツやレクリエーションをする機会の提供
- 3 郷土の歴史や文化を自ら学べる機会（講演会、講座、学級、教室など）の充実
- 4 芸術文化活動やスポーツ・レクリエーション活動、生涯学習に関連する情報提供
- 5 県内スポーツ選手の競技力の向上や、素質あるジュニア選手（児童生徒など）の育成強化
- 6 スポーツ指導者の養成と、スポーツ少年団の育成・強化
- 7 社会教育を推進する団体の取り組み
- 8 文化財の保存・活用
- 9 県内各地の文化施設のネットワーク化
- 10 その他（ ）

【公共施設整備】

問22 あなたのお住まいの地域で、ぜひ整備してもらいたい公共施設は何ですか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 日常生活でよく利用する道路
- 2 公共交通機関（バスや鉄道など）
- 3 駐車場や駐輪場
- 4 スポーツ施設（体育館、運動場など）
- 5 高等教育機関（大学、短大など）
- 6 地域医療施設（診療所など）
- 7 高度医療施設（総合病院など）
- 8 高齢者福祉施設
- 9 障害者福祉施設
- 10 児童福祉施設（保育所、児童館など）
- 11 公園、広場、遊歩道、遊園地など
- 12 文化施設（図書館、美術館、博物館、文化ホールなど）
- 13 下水道
- 14 公営住宅
- 15 災害対策施設（河川改修や土砂災害対策工事など）
- 16 その他（ ）

【山梨県の将来像】

問23 あなたが期待する山梨県の将来像をことばで表すと、次のうちどれになりますか。あなたのイメージに近いものを次の中から3つまで選んでください。

- | | | | |
|------|--------|-------|-----------|
| 1 自然 | 6 個性 | 11 國際 | 16 交流 |
| 2 開発 | 7 やすらぎ | 12 快適 | 17 その他（ ） |
| 3 伝統 | 8 にぎやか | 13 中心 | |
| 4 先進 | 9 田園 | 14 健康 | |
| 5 調和 | 10 洗練 | 15 安全 | |
-

【人口減少問題】

問24 人口減少による経済・産業の縮小により、住民の経済力が低下し、地域社会の様々な基盤の維持が困難となることが懸念されています。

本県の人口が減少している状況から、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 子どもの可能性を引き出す教育（少人数教育、いじめ・不登校対策、ＩＣＴ活用環境の整備など）
- 2 若者の社会的自立への支援（キャリア教育の充実、就労支援、奨学金返還支援など）
- 3 性差・社会的役割に対するアンコンシャスバイアス（無意識の偏見や思い込み）の解消により、多様な人々が活躍できる社会の実現
- 4 安定した雇用の確保
- 5 働き手のスキル・企業の収益・賃金の向上（スリーアップの促進）
- 6 女性の希望に添ったキャリア形成
- 7 非正規雇用者の正規雇用化
- 8 働く人の個々の事情に応じて多様な働き方を選択できる社会の実現
- 9 デジタル化による利便性の享受や、生産性向上による労働環境の改善など、デジタルの恩恵を誰もが受けられる社会の実現
- 10 若者のライフプラン（将来の仕事や結婚、子育てなどの人生設計図）形成
- 11 若い世代や子育て世帯が安心して暮らせる良質で安価な住環境の整備
- 12 子育て世代に対する経済的支援
- 13 保育サービスの充実と質の向上
- 14 男性の主体的な家事・育児参加
- 15 家族の介護等を行うケアラーへの支援
- 16 その他（ ）

【生活の状況】

問25 あなたの生活の状況（暮らし向き）は、今どうですか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 苦しい | 4 どちらかといえば余裕がある |
| 2 どちらかといえば苦しい | 5 余裕がある |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

問26 あなたの生活の状況（暮らし向き）は、1年前に比べてどうですか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|----------|---------|
| 1 苦しくなった | 3 楽になった |
| 2 変わらない | 4 わからない |

【生活困窮】

問27 収入が少ない方、働きたくても働けない事情がある方、病気や障害のある方、高齢の方など、さまざまな理由で毎日の生活に余裕がなく困っている家庭が少なくありません。

こうした生活困窮世帯の現状から、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 生活保護などセーフティーネットの向上
- 2 フードバンクやこども食堂など民間団体による食糧提供の取り組み
- 3 公営住宅などによる住まいの確保
- 4 職業訓練や就職相談などの就労支援
- 5 パートタイムを含めた柔軟な雇用機会の拡大
- 6 学習機会の提供や学用品の支給など子どもへの支援
- 7 家計改善や経済的自立に向けた生活支援
- 8 地域の中で支え合いながら生活することができる場づくり
- 9 心理的なサポートやカウンセリングの提供
- 10 生活困窮者への理解や協力を深める普及啓発活動
- 11 その他 ()

【ケアラー問題】

問28 2025年に団塊の世代の皆様が75歳以上になられることに伴い、介護が必要となる方が増えるとともに、介護等を行う側、ケアラー（学校に通いながら家事や家族の介護などを日常的に行っている子どもである「ヤングケアラー」、子育てと介護を同時に抱える「ダブルケアラー」、仕事をしながら家族の介護を担う「ビジネスケアラー」など）の増加が見込まれます。

学び世代の子ども・若者や子育て世代の介護負担軽減、働く世代の介護離職等を防ぐために、あなたはどのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

- 1 ケアラー問題の重要性についての社会全体での共通認識の醸成に向けた周知
- 2 介護への向き合い方（抱え込まず周りに相談することなど）についての社会全体への普及啓発
- 3 ケアラーへの支援機関や支援制度などの情報提供
- 4 ケアラーが相談できる人や場所の充実
- 5 ケアラーを支援機関につなげる仕組みの拡充
- 6 ケアラーが休める時間がとれるような支援
- 7 ケアラー同士が悩みの共有や情報交換等を行うことができる場の充実
- 8 ケアラーを支える関係機関（市町村や地域包括支援センター等）の連携強化
- 9 ケアラーに対する経済的支援
- 10 ケアが突然発生した際に、伴走的に支援してくれる体制の充実
- 11 職場や学校等におけるケアラーへの理解促進
- 12 職場や学校等における仕事や学業との両立に向けた支援の充実
- 13 その他 ()

最後に、あなた自身のことについておたずねいたします。
これまでおうかがいしたことを、統計としてまとめるために必要な項目ですので、ぜひお答えくださいます
よう、お願いいいたします。なお、個人が特定されることはできません。

F 1 性別 あなたの性別をお答えください。

1 男 2 女 3 回答しない

F 2 年齢 あなたの年齢は、令和7年8月1日現在、満でおいくつですか。

1 18~19歳	6 40~44歳	10 60~64歳
2 20~24歳	7 45~49歳	11 65~69歳
3 25~29歳	8 50~54歳	12 70~74歳
4 30~34歳	9 55~59歳	13 75歳以上
5 35~39歳		

F 3 職業 あなたのご職業は何ですか。

自営業、 家族従業者	1 農林水産業
	2 商工・サービス業 (卸小売業・飲食業・製造加工業・建設土木業など)
	3 自由業 (開業医・弁護士・宗教家・芸術家・著述業・茶華道師匠など)
勤め人	4 会社、商店、工場などに勤めている
	5 官公庁、公共企業体に勤めている
	6 学生
その他	7 主婦・主夫 (パート)
	8 主婦・主夫 (専業)
	9 その他 ()

F 4 居住年数 あなたは、山梨県に何年住んでいますか。

(過去からの居住年数をすべて足した年数を選んでください。)

1 1年未満 2 1~5年未満 3 5~10年未満 4 10~20年未満 5 20年以上

F 5 県外居住経験 あなたは、山梨県外に1年以上住んだことがありますか。

1 ある 2 ない

F 6 世帯構造 現在あなたと一緒に暮らしているご家族は次のどれにあたりますか。また何人ですか。

ご家族全員について、それぞれあてはまる番号を選び、その人数を()にご記入ください。

- | | | |
|-------------|-----------------|-------|
| 1 いない(単独世帯) | 5 父母 | () 人 |
| 2 配偶者、パートナー | 6 祖父母 | () 人 |
| 3 こども () 人 | 7 その他 () () 人 | |
| 4 孫 () 人 | | |
-

F 7 世帯構成 あなたといま一緒に住まいの方の中に、以下のような方はいらっしゃいますか。

いらっしゃる場合は該当する番号を選び、その人数をご回答ください。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1 小学校入学前の乳幼児 () 人 | 4 高校生 () 人 |
| 2 小学生 () 人 | 5 大学、短大、専門学校生等 () 人 |
| 3 中学生 () 人 | 6 75歳以上の方 () 人 |
-

(調査は以上です。ご協力ありがとうございました。)